

り、吸収容易なこととあわせて、その量も調理加工用水としての1日の使用量からしてCa給源として無視出来ないものであるという。そこで、山梨県下一円にわたり、井戸水を主体として飲料水カルシウムにつき、その含有量の測定を行ったので、その結果をとりまとめて報告する。

* 7. 山梨県下飲料水中のCa含量について

山梨大学 小林 豊子

国民栄養調査の結果認められる各種の欠陥のうち、Ca摂取の不足は決定的なものとみなされて居り、昭和31年度調査成績によれば、国民1人当りCaの摂取は379mgで、必要量のほぼ1/3にしか当たらない。然るにこの数値にはCa源として相当重要な意味をもつ飲料水中のそれは加算されていない。

久保氏によれば、水のCaは完全にイオン化してお